

離島発「グローバル人材」育成のための「地域・社会に開かれたカリキュラム・マネジメント」の探究

本校がその離島の特色を活かしながら目指すグローバル人材像を、「地球的視野で考えながら、足元から実践していける人材」であり、同時に「ふるさとや地域を想いながら、世界中で実践者として活躍できる人材」と定義する。

この人材育成のために、地域との協働により「地域・社会に開かれたカリキュラム」を開発し、グローバル人材に必要な「主体性」「協働性」「探究性」「社会性」の4つの資質・能力の育成を目指す。

① コンソーシアムの体制

既設置の「島根県立隠岐島前高校魅力化と永遠の発展の会」及び「島根県立隠岐島前高校魅力化推進協議会」を母体とし、年度始に当該年度の目標設定の共有や年度末の結果や評価についての共有等、年に6回程度の会議を設け指導・助言を受ける。

② 地域協働学習実施支援員等の配置

校内に「コーディネーター」を4名配置し、地域課題解決型探究学習やカリキュラム開発に係る授業や打ち合わせに参画する。また、海外交流アドバイザーとして、「グローバルコーディネーター」を校内に1名配置し、「グローバル探究」等における現地調整や交流事業全般を担う。

令和4年度の目標

	目標値
卒業後のグローバルな進路選択者数	15%以上
卒業後も隠岐島前地域に積極的に関わろうとする生徒数	15人以上
	目標値
主体性、協働性、探究性、社会性における「自己能力認識」で肯定的意見の割合	75%以上
主体性、協働性、探究性、社会性における「行動実績」で肯定的意見の割合	83%以上
安心・安全の土壌、多様性の土壌、対話の土壌、開かれた土壌における生徒の肯定的意見が肯定的意見の割合	90%以上

取組状況

1. グローカルに課題解決を実践するプロフェッショナルによる授業の実施
2. 国内外の課題解決実践地域との交流事業の実施
3. 地域課題解決型学習と各教科で取り組む「地域未来探究」の実施
4. 「伴走者フォーラム」の実施
5. 研究発表会の開催

成果と課題

島根県と協働で開発した「地域・社会に開かれた教育を実現するため」の調査である「高校魅力化評価システム」の結果からは、生徒の「主体性」「協働性」「探究性」「社会性」に係る「自己能力認識」及び「行動実績」の肯定的スコアに大きな変動はみられないが、「探究性」のスコアは年度を経るにつれて上昇しており、事業の成果が現れているものと考えられる。

自己の探究活動・実践活動に苦慮する場面等から、自己肯定感や自己有用感が十分育まれず、真の探究学習に踏み込めない生徒の姿が見られることが課題であるが、「新時代に対応した高等学校教育改革推進事業（普通科改革支援事業）」等への取り組みにより、解決に向けて研究・実践していく。